

GRAMEEN
NIPPON

グラミン日本の活動は、
みなさまのご支援に支えられています。

ご寄付はこちらから

外部寄付サイト・コングラントよりご寄付いただけます。

マンスリーサポーター
(毎月のご寄付)



都度のご寄付

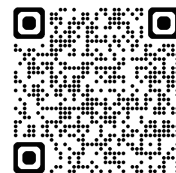


グラミン日本公式Instagramのご紹介

グラミン日本では、シングルマザーや支援者等への情報提供を目的としたSNSを運用しており、とくにInstagramでの情報発信に力を入れています。

毎月開催している「ミライWorkShop」のスケジュール告知や参加者のご紹介、母子家庭・子育て世帯に役立つ情報など、ひとり親や働くお母さんの日々の生活に少しでも寄り添えるような発信を心がけています。多くの方の支えになるよう、これからも分かりやすい情報を丁寧にお届けしていきます。

GRAMEEN
NIPPON
Instagram



GRAMEEN
NIPPON



公式サイト



法人向けサイト

一般社団法人グラミン日本
〒103-0022
東京都中央区日本橋室町一丁目8番7号
東信室町ビル4F
TEL 03-3516-2890



GRAMEEN
NIPPON

一般社団法人 グラミン日本
第9期 事業報告書
(2024年10月～2025年9月)

Annual Report 2025



contents

- 3 グラミン日本が描く未来
- 5 設立から現在までの歩み
- 7 グラミン日本オリジナル支援モデルの全体像

3つの支援モデル

- 9 マイクロファイナンス事業
- 11 就労支援事業
- 13 休眠預金活用事業

2025年度の実績

- 15 マイクロファイナンス事業
- 17 就労支援事業
- 19 休眠預金活用事業
- 21 グラミンメンバーの声
- 22 支援企業・団体のご紹介
- 23 財務会計報告
- 24 団体概要

発行者：一般社団法人グラミン日本
問い合わせ：広報担当理事 近藤 (pr@grameen.jp)
制作協力(プロボノ)：
[編集] 杉田真由佳、二宮佳代
[デザイン] 奥谷知未

本報告書はプロボノの皆様の専門スキルによる
多大なご支援により完成いたしました。
心より感謝申し上げます。

多様な連携を通じて、 「自立への一歩」を支え続ける

一般社団法人グラミン日本 理事長 百野 公裕

2025年度も、グラミン日本は、シングルマザーを中心とする女性の皆さんが直面する就労や生活の課題に向き合いながら、支援活動を進めてまいりました。物価上昇や雇用環境の変化が続くなか、経済的・時間的な制約を抱える女性たちにとって、自立に向けた選択肢は依然として限られています。私たちは、「次の一歩を踏み出す機会」を届けることを軸に、支援の在り方を模索してきました。

本年度は、休眠預金等活用法に基づく2024年度通常枠公募において、資

金分配団体として4団体を実行団体に採択し、地域に根ざした支援の広がりを後押ししました。また、研修でスキルを得た女性たちが、雇用や起業へ進む前段階として実務経験を積み、実績を形成する場として、2023年に立ち上げたBPO部門の取り組みも継続しています。多様なパートナーとの連携を通じて支援モデルを磨きながら、「誰もがいきいきと社会で活躍できる持続可能な社会」の実現に向け、今後も着実に取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



グラミン日本が描く未来

グラミン日本は
「自立への一歩を踏み出す機会」を提供

日本では、母子世帯の2人に1人が相対的貧困の状態にあり、シングルマザーの多くが不安定な雇用と孤立に直面しています。

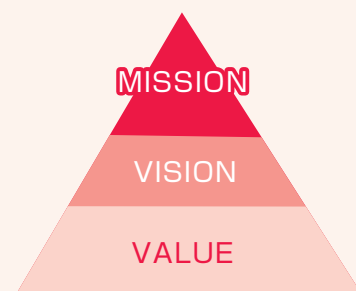
私たちグラミン日本は、グラミン銀行のノウハウを生かし「マイクロファイナンス」や「就労支援」を通じて、
困窮するシングルマザーを中心とした女性の自立と夢に向けて「一歩を踏み出す機会」を提供しています。

【グラミン日本の理念】



GRAMEEN
NIPPON

グラミン日本のロゴは、「一歩を踏み出す人々の家」をイメージしています。
外に向かって開かれている扉は、新しい世界へ一歩を踏み出す人々の希望を表現しました。



MISSION 組織の使命

マイクロファイナンスと多様なパートナーとの共創によって生まれる「一歩を踏み出す機会」を、人々に提供していきます。

VISION 組織が目指すゴール

誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会

VALUE 団体の価値観

チャンスを願い、一歩を踏み出そうと想う
人々の伴走者であること

グラミン日本は、
「グラミン銀行」の日本版です。



ムハマド・ユヌス博士

グラミン日本の原点は、バングラデシュで生まれた「グラミン銀行」にあります。経済学者ムハマド・ユヌス博士が、貧困に苦しむ女性たちに無担保・少額融資を提供し、自立への道を切り開いたこの仕組みは、世界40か国以上に広がり、1,000万人以上の生活を変えてきました。

ノーベル平和賞



ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

1 目的

利益の最大化ではなく、
社会問題の解決こそが
目的であること

2 持続性

財務的に
持続可能であること

3 投資回収

投資家は投資額を回収するが、
それ以上の配当は分配されないこと

4 再投資

投資額以上の利益は、ソーシャルビジネスの
拡大や改善のために使うこと

5 環境配慮

環境へ配慮すること

6 労働条件

スタッフは標準以上の
労働条件・給料を得ること

7 喜び

楽しみながら仕事をする事

設立から現在までの歩み

グラミン日本は2018年の設立以来、社会の変化に合わせて支援の形を進化させてきました。
コロナ禍ではオンライン支援を確立し、2022年には休眠預金等活用法に基づく
資金分配団体として全国各地の実行団体への支援をスタート。
常に時代の課題に寄り添いながら、
「自立を支える金融と就労の新しい支援モデル」を築いています。

GRAMEEN
NIPPON

動き

主な出来事



- 設立
 - マイクロファイナンスによる起業支援スタート
 - 貧困の実態を発信
- 支援活動をオンラインに切り替え
 - 様々なパートナーと共同の支援モデル・プログラムを開始
- デジタル就労支援プログラムの開発と支援開始
 - 休眠預金事業の開始
- リスキリング就労支援の強化
 - BPO部門の開始
 - 地方自治体連携による支援活動の拡大
 - インパクト雇用の提唱

- 2018年

 - 東京都の貸金業登録交付
 - 設立、事業開始
- 2020年

 - Accentureとの協働プログラム「起業・就業支援オンラインワークショップ」を開始
 - スキルアップトレーニングとOJTを組み合わせたシングルマザー支援事業を開始
- 2021年

 - 就労支援およびデジタル人材育成のためのプログラムを提供開始

2022年

 - 2021年度休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として採択決定
- 2023年

 - 東洋学園大学現代経営学部との産学連携
 - 2023年度休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として採択決定

2024年

 - 2024年度休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として採択決定

地域支援の拡大
起業支援の強化

社会の変化

- 貧困に対する無理解
＝隠れた貧困
- ・非正規雇用の失業が急増
 - ・経済格差の拡大
- ・在宅ワークの普及など働き方の変化が加速
- ・国、地方自治体による女性活躍リスキリング施策の増加
- ・首都圏と地方の経済格差拡大
 - ・起業支援ニーズの顕在化

グラミン日本オリジナル支援モデルの全体像

グラミン日本の支援モデルは、グラミン銀行のマイクロファイナンスを源流としています。
起業を軸に培ってきた伴走支援や金融教育のノウハウを生かしつつ、
リスキリングと掛け合わせた“就労・副業支援モデル”、
そして地域団体と連携した“地方支援展開”へと広がっています。

支援モデル 1

マイクロファイナンス事業

グラミン銀行のマイクロファイナンスを日本で展開。
少額融資・伴走支援・金融教育など一貫した金融支援を通じて、
起業や就労準備の挑戦を後押しします。
支援ノウハウの原点であり、他のモデルの基盤となっています。

支援を受けたシングルマザー

西川 玲子 さん（22ページ参照）
水素吸入サロンを開業し
マイクロファイナンスを利用



支援者のニーズに合わせて
マイクロファイナンスを提供

実行団体のニーズに応じて
マイクロファイナンスや
金融トレーニングを提供

支援モデル 2

〈多様な“自立の形”を支えるモデル〉 就労支援事業

スキルアップやマインドセットなどの研修、実践をする場の提供、
企業とのマッチングなど女性たちの収入力向上を目指し、
一気通貫の支援を展開。また社会や企業に向けて、
新たな働き方を提唱するセミナーなども開催しています。

支援を受けたシングルマザー

上村あかね さん（18ページ参照）
「デジタル就労支援プロジェクト」を受講後
BPO部門の一員として、複数の案件を手掛ける



支援モデル 3

〈地域支援団体とともに、 支援のエコシステムを全国に広げるモデル〉

休眠預金活用事業

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として
支援を実行する団体をサポート。
グラミン日本メソッドを提供することで
地域に根ざした多様な支援の土台をつくります。



資金支援および
非資金的支援を行っている実行団体

2023年度:6団体

2024年度:4団体

3つの支援モデル

GRAMEEN
NIPPON

支援モデル 1

マイクロファイナンス事業

グラミン日本のマイクロファイナンス

貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行い、こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し、自立するのを支援する仕組みです。グラミン日本は、グラミン銀行のノウハウを生かした融資を行っています。

特徴 1

「起業や就労に向けた準備の場所」ミライWorkShop

シングルマザーは基本的に、仕事も育児も家事も一人で担わなければなりません。将来のことをきちんと考えたくても、生活に追われ時間に余裕がなかったり、スキルアップするにもお金がなかったり、何から始めたらいいかわからない。そんな方を対象に、**自分の経験・強みを整理し、起業アイデアの言語化や創業計画書の作成に関する取り組みを、仲間と励まし合いながら行う「ミライWorkShop」を提供しています。**受講料は無料で、完全オンラインのため、どこにいても参加可能です。

STEP.1 自分を知る

- 自分の歩みや気持ちを整理
- 大事にしたい想いやスキルなど、企業の土台を見つける

STEP.2 事業内容を練る

- 夢や想いを事業にする道筋を考える
- ワーク内容：ターゲット、商品やサービス、ブランディング等



誰に売るか 何を売るか ブランドをつくるには

STEP.3 開発準備へ

- 固まった事業内をもとに、開業プランを作成
- ワーク内容：宣伝方法、必要な資源、収支計画等



特徴 2

5人1組のグループ形成と伴走支援

必要に応じて融資も行います。そして女性たち5人で1組のグループを結成します。なぜなら、一人だと滞りがちなことも**一緒に走る仲間がいれば、刺激しあい、励まされ、進みやすくなるから**です。

グラミン日本の融資担当者もグループに付き、伴走します。月に2回ある5人組のミーティング(センターミーティング)では、借りたお金を返済できているかや、事業の進み具合を確認したり、悩みを相談したりして、解決策やアイデアをシェアします。

「他では相談できないことも、5人組のメンバーとなら気兼ねなく話せた」

「一人だと進まないことも、仲間がいることで私も頑張らなきゃと思え、良い刺激がもらえた」

この仕組みはバングラデシュのグラミン銀行から始まりました。**世界に広がるグラミンの大きな特徴です。**



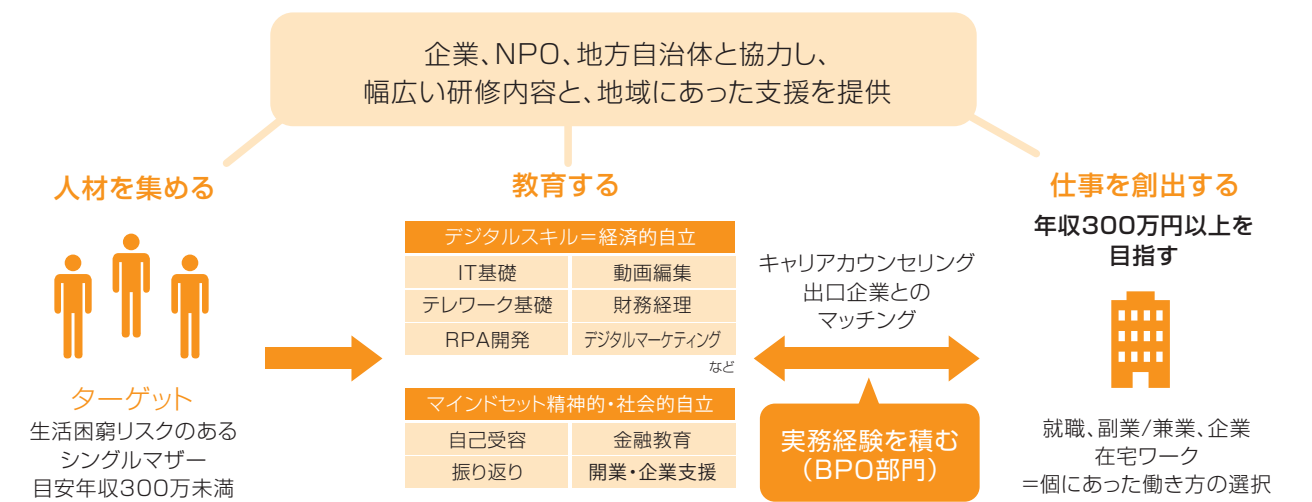
支援モデル

2

就労支援事業

事業の概要と特徴

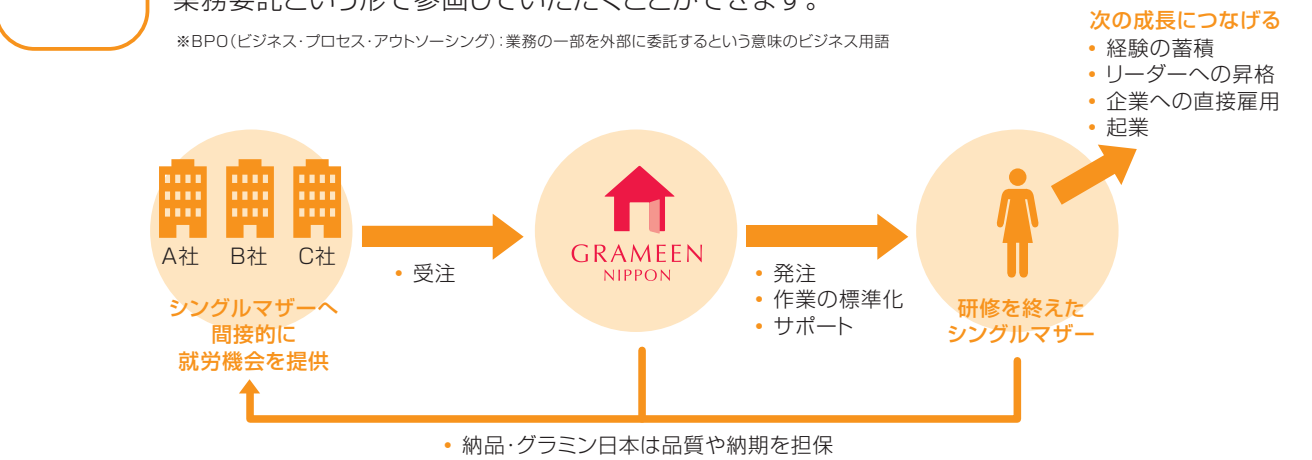
リスキングとマインドセット、その後の就労支援まで一気通貫で支援をしています。
コレクティブインパクト(16ページ参照)をベースに他団体や企業との協働も多く、
さまざまなプロジェクトを同時進行していますが、共通の枠組みは下図のとおりです。



BPO 部門

研修でスキルを得た女性たちが、その後の雇用や起業へステップアップする前に、実務経験を積み、実績を作る場として2023年にBPO部門を立ち上げました。主にグラミン日本が企業から業務を受託し、デジタルスキル研修プログラムを修了したシングルマザーが実務を担います。直接雇用は少しハードルが高いと感じている企業も、業務委託という形で参画していただくことができます。

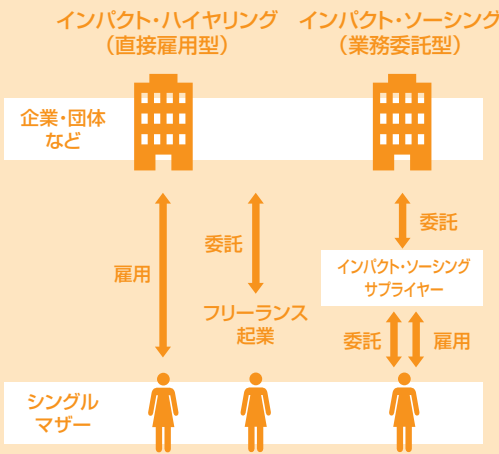
※BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング):業務の一部を外部に委託するという意味のビジネス用語



誰もが働ける社会を目指す「インパクト雇用」



「インパクト雇用」は私たちの活動を支える重要な考え方です。
子供がいるから、キャリアがないから—このような理由で、多くのシングルマザーは一般的な採用方法では就労の機会が得にくい状態にあります。
そんな彼女たちを雇用対象とし、会社や組織の多様性を推進することで変革をもたらす、さらには社会貢献も目指すのが、インパクト雇用やインパクト・ソーシングという概念です。
人手不足の解消、開かれた企業風土に対する外部からの評価、多様性をもたらす新たな発想による企業価値向上など、採用側にもメリットがあります。この新たな考え方を普及すべく、グラミン日本はセミナーなどを積極的に開催しています。



セミナー名	開催日時	主催団体
雇用・アウトソーシングを通じた女性のエンパワメントを目指して	2023/04/04	CSR Roundtable
グラミン日本と考えるインパクト雇用	2024/02/28	Abeam Innovation Lab for SDG
インパクト雇用で子どもの貧困問題へ挑戦!	2024/04/02	グラミン日本
シングルマザーの経済的自立を考える —子どもの貧困の解決に向けて— 第1回外部活動:映画「取り残された人々」情勢会とディスカッション	2023/04/04	HRテクノロジーコンソーシアム
未来の日本の人材戦略: 女性活躍推進と社会課題解決につながる「インパクト雇用」とは	2024/04/23	日本経済大学
「ソーシャルビジネスIA」	2024/07/10	HR Japan Summit 2024(マーカスエバンズ)
インパクト雇用を人的資本経営につなぐ	2024/07/10	Women Corporate Directors(WCD日本支部 課外活動)
シングルマザーの経済的自立を考える —子どもの貧困の解決に向けて— 第2回外部活動:インパクト雇用を人的資本経営につなぐ	2024/08/26	Women Corporate Directors (WCD日本支部 課外活動)
サステナビリティ経営セミナー: インパクト雇用を人的資本経営につなぐ	2024/09/09	多摩大学サステナビリティ経営研究所/ 共催 UNIVERSITY of CREATIVITY
特別講義「世界と日本の未来を考える」	2024/10/28	高崎経済大学
トランスコスモス社 社内勉強会 「グラミン日本と考えるインパクト雇用について」	2024/11/21	トランスコスモス株式会社
移動困難者のインパクト雇用の解決策を共に考えよう!	2025/02/13	株式会社オリイ研究所/グラミン日本
グラミン日本の取り組みと「インパクト雇用」	2025/06/02	NRI青嶋塾
【グラミン日本×オリイ研究所】 移動困難者インパクト雇用の解決策を考えよう —社会課題を人材力に変える、企業の挑戦と成長の舞台—	2025/07/17	株式会社オリイ研究所/グラミン日本
第2回講演会 -シングルマザーが抱える真の社会問題と持続支援のあり方- 映画「取り残された人々 日本におけるシングルマザーの苦境」 上映会&パネルディスカッション	2025/09/06	主催:大阪公立大学 大学院 経営学研究科 CSV経営研究プログラム 共催:こども未来創造コンソーシアム、 一般社団法人 グラミン日本
働き方・職場改革ワークショップ第2回目「持続可能事業とインパクト雇用」	2025/11/20	佐賀県武雄市総務部 男女参画・市民協働課

支援モデル
3

休眠預金活用事業

【グラミン日本からのメッセージ】

私達のゴールは、生活困窮の状態にあるシングルマザーの方々が自立に向けた意欲を高め、「こうありたい」と願う夢に向かって、一歩を踏み出せるようになることです。

休眠預金という貴重な資金を活用できる事に感謝し、責任感と情熱をもって、このゴールを実現するため取り組んでいます。

【事業の概要と特徴】

休眠預金等
活用とは？

休眠預金等活用法に基づき、10年以上取引がない預金等（休眠預金）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する事業です。

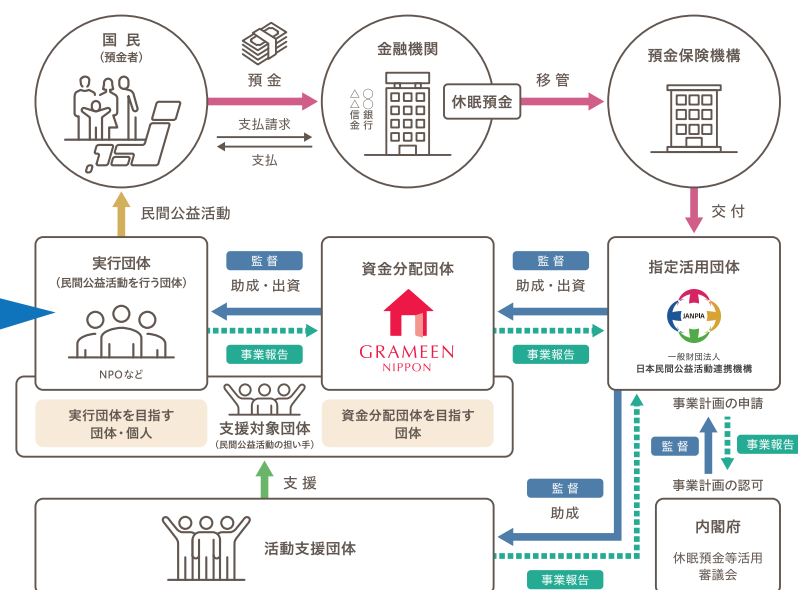
この事業を運営する日本民間公益活動連携機構（JANPIA）より、グラミン日本は資金分配団体として採択され、「シングルマザーのデジタル就労支援」事業を実施しています。

休眠預金を
どう活用
しているのか

「資金分配団体」として採択されているグラミン日本は、シングルマザーに対してリスキリングなどの支援を直接行うのではなく、これらの支援を実行する「実行団体」に対して、休眠預金を分配し、支援活動の伴走支援を行います。

また、グラミン日本はこの事業を通して、実行団体が「事業を継続できる組織基盤を構築する」ことや「シングルマザーを支える社会のしくみ作り」も目指しています。

休眠預金等の活用の流れ



2024年度事業の
実行団体は
右ページで紹介
しています

2024年度事業の
実行団体を選定

グラミン日本は2021年度と2023年度に続き、2024年度の資金分配団体にも選定されました。

資金分配先として、特に北海道・東北・北陸・甲信越・中国地方を優先地域とし、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーの経済的・精神的・社会的な自立とウェルビーイング向上を支援する実行団体として、4つの団体を採択しました。活動期間は 2025年10月～2028年2月の予定です。

2024 年度休眠預金活用事業 「デジタルスキル研修&起業・就労支援を核とした シングルマザー支援団体の育成・促進事業」

—— 4つの実行団体の紹介 ——

コグニティ株式会社

<https://cognitee.com/>

【事業名】

バイアスフリーな働き方支援事業 カメリア・ポート
～まなび・働く・育てるをつなぐ、シングルマザーのキャリア支援プロジェクト～

代表取締役
河野 理愛

【代表者メッセージ】

「技術の力で、思考バイアスなき社会を」というパーパスのもと、特許技術で定性情報を定量化し、組織改善を支援。働き方のバイアスもなくするため、13年前からテレワーク・地方採用を推進。本事業を通じて『誰もがフェアに働ける環境』をさらに広げます。

特定非営利活動法人
mia forza

<https://miaforza.jp/>

【事業名】

ともに学び・ささえあう
シングルマザーデジタルスキル 応援事業
～デジタルなんてこわくない!～

代表理事
門間 尚子

【代表者メッセージ】

「デジタルスキルを得たくても学ぶお金も時間もなくて」「生活面で不安があって一歩を踏み出せない」そんなシングルマザーのみなさんの声から、デジタルスキル習得と就労支援、親子サポートを含む生活支援を柱とする本事業を構想しました。子育て、家計、就労、元パートナーや親・友人との関係、傷ついた経験から来る不安や心配など。たくさんの方のことをひとりで抱えているお母さんたちに寄り添いながら、お母さんたちとお子さんたちを応援します!

株式会社 Ccobi

<https://cco-bi.com/>

【事業名】

ブリッジ・ワーク・ラボ
～シングルマザーの働く未来と企業、そして自分と仲間をつなぐ架け橋～

代表取締役
古後 理栄

【代表者メッセージ】

Ccobiは「働き方」と「暮らし方」のデザインを通じて、ウェルビーイング向上に取り組んでいます。ジェンダーギャップが課題とされる長野県で、子育てと仕事の両立に悩む女性は少なくありません。どんな状況の女性でも「諦めない選択」ができるよう、一人ひとりの強みを活かしたキャリア形成を支援し、長野から、自立して輝くシングルマザーを数多く輩出していきたいと思っています。

特定非営利活動法人
オカヤマビューティサミット

<https://okayamabs.org/>

【事業名】

シングルマザー共創型しごと
拠点事業～サリエモデル～
～孤立からつながりへ、しごとと未来を共につくる～

代表理事
柚木 幸子

【代表者メッセージ】

サリエハウスは、ひとり親の“働きたい”という想いに寄り添い、学び・つながり・挑戦できるためのステージです。孤立や情報不足に悩む方が、安心してスキルを磨き、仲間と出会い、未来への一歩を踏み出せる場所。ここで得た経験と自信が、あなたと子どもたちの人生を支える力になります。あなたの可能性は、ここから広がります。シングルマザーの方のサポートをオール岡山から実現していきます。

2025年度の実績

GRAMEEN
NIPPON

実績

1

マイクロファイナンス事業

ミライWorkShopアドバンスを開始しました

従来の「ミライWorkShop」からさらに一步踏み込み、より実践的な内容にブラッシュアップした「ミライWorkShopアドバンス」を2024年10月からスタートしました。起業への気持ちが特に強い方、具体的には6カ月以内の開業を目指している方を対象にしています。

起業のアイデアを立てて終わりではなく、工程や進捗をシートに見える化。やるべきことを明確化しつつ、フィードバックももらいながら、各々が建てたゴールへ着実に向かうことを重視しています。

ミライWorkShopアドバンスとは？

同じような想いの仲間と励まし合いながら、学んだことを少しずつ実践もすることで、自分のアイデアをビジネスにしていけることが可能な講座です。

「学ぶだけでは意味がない。行動に移したい。」

そんなホンキの女性・シングルマザーを応援する講座です。

実践型基礎講座
約3ヶ月

MVVや
事業計画書の作成

希望者に
マイクロファイナンス

実践することが
ポイント

融資実績

物価の高騰が続く一方で、賃金の伸びは鈍く、家計の苦しさを抱える家庭が増えています。
こうした状況を踏まえ、私たちはマイクロファイナンスを
より多くの方に届け経済的自立への一歩を支えられるよう、活動の発信を強化していきます。

融資金額

1,573万円

融資人数

73人

※2025年9月までの累計

コラム

複数の団体と協力することで、大きな課題を解決する 「コレクティブインパクト」

コレクティブインパクトとは、
企業やNPO、行政などが、互いの強みを生かし協力することで、
一組織・団体だけでは解決できなかった社会課題の解決を目指す方法です。
グラミン日本では、この考え方にもとづいた支援を行っています。
たとえば行政とともに、その地域課題にあった支援内容を提供する、
教育ノウハウを持つ企業と研修を行う、などです。

「困窮リスクのある女性たちの経済的自立」という共通目的を達成すべく 各自の強みやノウハウを発揮

NPO・非営利団体

- 支援のノウハウ
- グラミン日本を知らない
シングルマザーとの繋がり

企 業

- リスキリングに繋がる
専門的なスキル
- 実務経験を積む場の提供
- 就労支援
- 雇用創出

グラミン日本

- 金融支援が可能
- 仲間とのつながり、伴走支援、
マインドセットなど
精神的支援のノウハウ

教育機関

- リスキリングのノウハウ

自治体など官公庁

- 地域に特有の課題を把握
- グラミン日本を知らない
シングルマザーとの繋がり

実績

2

就労支援事業

NCR財団の助成を受けた「女性によるデジタルトランスフォーメーション」プロジェクト完走

アメリカの財団「NCR Foundation」より15万ドルの助成を受けて実施した「女性によるデジタルトランスフォーメーション」プロジェクトが完結しました。低所得のシングルマザーがデジタルスキルを習得し、所得向上を目指した取り組みです。

【実施概要と特徴】

- 2023年8月～2025年5月にかけて、自治体や企業、教育機関と連携し、計8つのプログラムを提供しました。
- グラミンの特徴である「5人組」の仕組みを生かして4～5人の参加者でグループを作り、互いに励ましあいながら活動
 - キャリアコンサルタントやITエンジニアによるきめ細やかなサポートで、モチベーションを維持しつつ、技術的なつまづきを克服

【得られた成果】

- 参加者の90%にあたる62人がプログラムを修了、専門スキルを習得
- 沖縄と糸満の「でじたる女子プロジェクト」参加者に対し実施した1年後の追跡調査では、以下のようなプラスの影響が確認できました。

参加者の50%が収入増

「効率が向上し、ボーナスが増えた」「リーダーシップスキルが身に付いたことで給料が上がった」

精神的なプラス効果

80%がタスクや課題の処理能力の自信が持てるようになったと回答。70%がストレスの減少を実感

No.	プログラム名	パートナー	デジタルスキル内容
1	沖縄でじたる女子プロジェクト	沖縄市／株式会社MAIA	SAP、RPA、ウェブマーケティング
2	糸満でじたる女子プロジェクト①	糸満市／株式会社MAIA	SAP、ウェブデザイン
3	桜美林学園SDGs教育プログラム	桜美林学園／日本シングルマザー支援協会	IT基礎、セールスフォース、販売管理
4	グラミン日本副業ママ養成講座①	Impact design office株式会社	IT基礎、経理
5	グラミン日本副業ママ養成講座②	Impact design office株式会社	IT基礎、人事労務管理
6	東北Woman Spiral Upプロジェクト	ノーコード推進協会	IT基礎、キントーン
7	副業デビュープロジェクト	株式会社オープンアップグループ株式会社SAMURAI	ウェブデザイン、Photoshop、HTML/CSS、JavaScript、WordPress
6	糸満でじたる女子プロジェクト②	糸満市／株式会社MAIA株式会社LIFULL	SAP、テレマーケティング

70%がワークライフバランス改善を実感

効率的な作業やストレスを管理するスキルが身に付いたことが奏功

家族への影響

45%が家族とのコミュニケーション時間確保が改善したと回答

BPO 継続案件が増加

BPO部門の開始から2年以上が経ち、発注元の数が大きく増加しました。期待された成果を確実に出し、単発ではなく継続案件が多くなっています。結果、シングルマザーにとっては実務経験の蓄積と収入の安定化が進み、私たちグラミン日本にとっても、ノウハウの拡大とサステナブルな運営環境が一段と整いつつあります。

発注元の業種	受託業務	継続性
人材業界	オンラインセミナー運営 マーケティング支援 ウェブサイト修正	継続
人材業界	AIを使った事務作業	継続
人材業界	採用関連業務	単発
医療	医療機器販売 採用代行	直接雇用切替
運輸業	オンラインセミナー運営	継続
コンサルティング業	オフィス業務	単発
非営利団体	ウェブサイト修正	継続
教育機関	ウェブサイト作成	継続

BPO部門で働いている
シングルマザーの声



上村あかねさん

いま高校生の息子が4歳のときに、私は離婚しました。住んでいた沖縄は最低賃金が安く、ダブルワークをしないと生活が成り立ちませんでした。飲食店で1日8時間勤務、残業も当たり前でなか週6で働いていました。体力の限界を感じて今度はコールセンターに勤めたのですが、通勤時間がとてまかかき、ワーキングプアの状態からは抜け出せませんでした。子供との時間もまったく取れず、成長を見逃してしまったという大きな後悔があります。そんななか2023年に「糸満でじたる女子プロジェクト」(左ページ参照)に参加することになり、パソコンのスイッチの入れ方も分からない状態からリスキリングを始めました。数カ月の課程をなんとか修了し、いまはBPO部門内でセミナーの企画や運営をしたり、バックオフィスの業務を請け負っています。ずっと同時並行で続けていたコールセンターも退職して、いまは在

宅勤務だけで仕事ができるようになりました。バックオフィス業務はまったくの素人だったので、最初は苦勞しました。オンライン・ミーティングの録画を見返して勉強したり、チャットツールのSlackで細かく指示を頂戴したりして、優しく丁寧に助けていただきました。

在宅勤務は孤独になりがちですが、わからないことをしっかり言語化して的確に伝える能力が磨かれ、また周りの方々の支えのおかげで苦勞を乗り越えるタフさも増しました。

リスキリングを通して私自身がすごく変わることができ感謝しているので、いま同じようにスキルアップをしている女性たちが実際に仕事に繋がっていけるよう応援したいですし、女性に優しい社会づくりを目指してゆくゆくは起業も考えています。

実績

3

休眠預金活用事業

2021年度事業が終了しました

4つの実行団体とともに行った2021年度休眠預金活用事業「シングルマザーのデジタル就労支援～互助グループ形成による仲間づくりとデジタルスキル習得～」が2025年3月に無事に終了を迎え、多岐にわたるアウトカムを達成しました。

実行団体のプログラムを受けたシングルマザーを対象に実施したアンケート結果は以下のとおりです。

シングルマザーの経済的自立

収入UP **43%**

※講座修了後6か月以上経過した人、n=63

経済的な見通しが
持てるようになった **41%**

シングルマザーの精神的自立

自己肯定感の向上 **52%**

子どもとの
関係性が良くなった **47%**

実行団体の組織基盤構築

組織基盤構築計画の
目標達成率 **100%**

出口戦略の達成率 **100%**

シングルマザー支援の仕組み作り

- 「インパクト雇用で実現する人的資本経営」レポート公開
- 企業向けのインパクト雇用&ソーシング普及セミナーを9回開催
- 事業報告会開催(2025年1月)

成果としてもっとも顕著だったのは、精神的・社会的自立レベルの改善でした。自己肯定感の向上や孤独感の解消、新たな働き方への意欲の芽生えなど、前向きな変化が多く見られ、仲間づくりやマインドセット支援の効果が確認できました。

このほか、実行団体においても、

- 組織基盤強化
- 企業や行政との連携
- インパクト雇用やアウトソーシングの推進を通じた雇用マッチングの創出

等のさまざまな成果につながりました。



2023年度事業の中間評価報告を行いました

2023年度事業の休眠預金活用事業「デジタルスキル研修&就労支援を通じたシングルマザーのエンパワメントと地域格差の解消」の中間評価報告を行いました。中間評価の目的は、活動内容や実施体制を見直し、事業の改善を図ることです。具体的には、活動が計画通り進んでいるか、事業設計や目標設定・実施体制等は適切か、アウトカムの発現の兆し等を確認し、実施状況の適切性を評価します。

各実行団体の中間評価の発表に対して、外部審査委員によるフィードバックをいただきました。またグラミン日本の中間評価においても、概ね計画通り進捗していることが報告されました。

中間評価時の目標値達成率は、

受講者数 **89%** (6団体合計231名／目標合計258名)、
修了率 **82%** と高水準。

また伴走支援を通じて実行団体との信頼関係が醸成されるとともに、その組織基盤整備も順調に進んでいます。

2023年度事業は2027年まで活動が続く予定です。

グラミンメンバーの声

GRAMEEN
NIPPON

※「グラミンメンバー」はグラミン日本が提供する支援により、自立に向けて歩みだした方々のことです。

正社員だったとしても 十分ではない

田畑 章子さん

鹿児島で勤務しながら、グラミン日本が実施する副業プログラムの受講を経て、BPO部門の業務委託を受けている田畑章子さん。現在高校1年生の娘さんと暮らしています。

父親の病気発症を機に十数年ぶりに地元の鹿児島へUターンし、転職をしたときのこと。「フルタイムの正社員で採用されたので一人親の手当や医療費助成など、公的な支援からはことごとく外されました。けれど実際は正社員といっても残業はできませんし、金銭的に余裕があったわけではないのです。何か手立てはないかと役所に赴いても、あなたより困っている人はたくさんいますから、と冷たく帰されました。」また職場にも家族にも迷惑をかけている、すべてが中途半端だという思いにも苦しみました。

ようやく娘さんが中学に進学し、すこし時間に余裕ができた頃、グラミン日本と株式会社



SAMURAIが共同企画した「副業デビュープロジェクト」の存在を知りました。「学費などまだまだお金が必要だと思っていました。また自分自身のキャリアのことも考え直したいなあ、と思ったのが興味を持ったきっかけでした。」

晴れてプロジェクトの受講生に選ばれ、プログラミングやホームページの作成などITスキルアップの機会を得ました。「3カ月間のプログラムだったんですが、週に20時間以上勉強時間を確保しなさいと言われていました。正直本当に本当に大変でした。先生との面談が週1回必ずあるので、今週は忙しくてできませんでした、が通用せず、出張先のホテルでも一生懸命やっていました。」

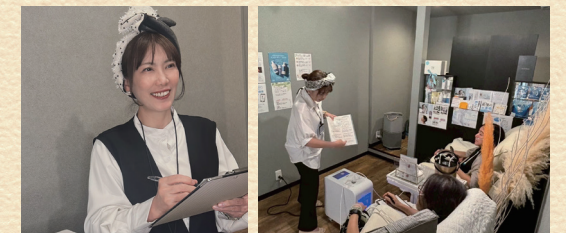
こうして無事プログラムを修了してスキルを身につけ、グラミン日本からの依頼で副業として企業のホームページ制作業務を受託しています。

起業後も学びが 生きている

西川 玲子さん

離婚したとき、小学生の子が2人いた西川玲子さん。「特に何のキャリアもなく焦りました。パートを手当たり次第に掛け持ちして。月曜から土曜まで働き、日曜日は子供たちを遊びに連れて行き、体を休める暇がありませんでした。」なんとか生活を回していましたが、更年期症状、神経痛のような全身の痛みに加え、足底筋膜炎という足裏の炎症を引き起こす症状も発現。満身創痍でした。

心配した友人が水素吸入サロンに連れて行ってくれたところ、手すりなしで階段を降りられるくらい足裏の痛みが和らぎ、驚いた西川さん。自身でも水素吸入サロンを開くことに決めましたが、起業にあたってはやはり不安もあったため、シングルファミリーの独立支援団体・一般社団法人ハートフルファミリーからの勧めで、グラミン日本の「ミ



ライWorkShop」に参加することにしたそうです。「1ヵ月に2度行われる5人組でのミーティングとワークがとても役に立ちました。たとえば自分の目標などを毎月記入していくのですが、回を重ねるうちに考えがどんどん鮮明になったり、事業に対する改善点や反省点が見えてきたり。しかも記録に残り、みんなとシェアができて意見ももらえる。言語化は苦手なのですが、きちんと言葉にしていけることはとても大事だと感じました。」「毎月自分の考えを言語化して整理していたのが、開業後も私の思考方法のベースになっていて、考えをブラッシュアップできていった気がします。」

試行錯誤しながらがむしゃらに運営をし、オープンから半年ほどたったころには、月商100万円を達成。お店の運営が楽しくて仕方ないと笑顔を見せます。

自分の店を、シングル家庭を 応援できる拠点にも

山田 優希さん

タコや魚の目等、足や爪の悩みに対応するフットケアサロン「ドクターネイル爪革命 富山店」を営む山田優希さんが離婚したのは10年ほど前、まだ二人のお子さんが未就学児のときでした。保育士から法人営業に転職して離婚に備えましたが、「成績によって変動するので収入が安定せず、金銭的に困っていました。子供たちにも我慢をさせていたと思います」と語ります。

2023年8月にフットケアサロン店を開業したあと、以前より付き合いのあったシングルファミリーの独立支援団体・一般社団法人ハートフルファミリーからの勧めで、グラミン日本の「ミライWorkShop」に参加することになりました。「月に



2回、5人の仲間がそれぞれ、前回から今日までの2週間どんなことをしてきたか発表するのですが、みなさんがすごく励ましてくださるなか、自分が何の成果も発表できないのは嫌だったんです。なので、何か仕事を取ってこなきゃと必死で頑張るようになりました。」マイクロファイナンス(少額融資)も受け、事業を軌道に乗せていきました。

業務委託でシングルマザーにお店のスタッフとして働き始めてもらった山田さん。「足のケアはもちろん、シングルファミリーを応援できる拠点としても、店を増やしていきたい」と話します。次なる野望は北陸や東北への展開と、その先の世界進出です。

2025年9月末現在

支援企業のご紹介



auフィナンシャルグループ



アクセンチュア株式会社



SAPジャパン株式会社



株式会社UPDATER
(旧みんな電力株式会社)



SMBC日興証券株式会社



Animo株式会社



牛乳石鹼共進社株式会社



クリーン・テクノロジー株式会社



株式会社
セプテーニ・ホールディングス



大研医器株式会社



MAIA株式会社



三井不動産株式会社

ご支援いただいている団体



一般社団法人
日本シングルマザー支援協会®



シングルファミリー啓蒙団体
HEART FULL FAMILY
一般社団法人ハートフルファミリー

団体名 一般社団法人 グラミン日本
所在地 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-7 東信室町ビル4階
電話番号 03-3516-2890
設立 2018年9月
登録番号 東京都知事(T3)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号
HP <https://grameen.jp/>

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	顧問	岩下 千草
創設者	菅 正広		宇佐美 潤祐
理事長・CEO	百野 公裕		太田 智
理事・COO	中川 理恵		金 辰泰
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		児玉 都
	小林 立明		新田 信行
	近藤 康裕		根本 剛史
	宮本 傑		羽生田 慶介
	山口 聖子		東出 忠昌
監事	江上 志保		望月 利昭
	児玉 久実		

【アドバイザーボード】

青 井 浩	株式会社丸井グループ 代表取締役社長	鈴木 桂 治	全日本柔道男子監督
入 江 のぶこ	東京都議会議員	月 田 有 香	株式会社MAIA 代表取締役
内 田 士 郎	株式会社コミュニティーメッシュ 代表取締役	中 内 綾	一般社団法人アフリカ協会 理事
江 成 道 子	一般社団法人日本シングルマザー支援協会 代表理事	中 村 誠 司	Team Energy株式会社 代表取締役
大 石 英 司	株式会社UPDATER 代表取締役社長	丹 羽 恵 久	ボストン・コンサルティング・グループ Managing Director & Partner
大 我 猛	boost technologies株式会社 取締役COO	原 丈 人	アライアンス・フォーラム代表理事、 デフタパートナーズグループ会長
小原 壮太郎	一般社団法人the Organic 代表理事	平野 啓一郎	芥川賞作家
影 山 泰 仁	ケイジーコンサルティング株式会社 代表取締役	藤 沢 久 美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
神 永 晋	住友精密工業株式会社 元代表取締役社長	藤 田 英 明	株式会社アニスビホールディングス 代表取締役社長
橘 田 大 輔	ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役	古 村 伸 宏	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会 理事長
塩 田 真 弓	株式会社テレビ東京 報道キャスター・記者	M I N M I	シンガーソングライター
島 田 圭 子	ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・ ジャパン・インク マネージング・ディレクター	安 井 正 樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー、 一般財団法人PwC財団 代表理事
鈴木 敦 子	NPO法人ETIC. Co-Funder / シニアコーディネーター	安田クリスティーナ	国際NGO InternetBar.org ディレクター

【2025年度 収益サマリー】

当年度の経常収益は149,224千円、経常費用は144,424千円となり、一般正味財産増減額は4,663千円となり、一般正味財産期末残高は11,705千円と前年度末残高と比較して増加しました。

【経常収支の状況】

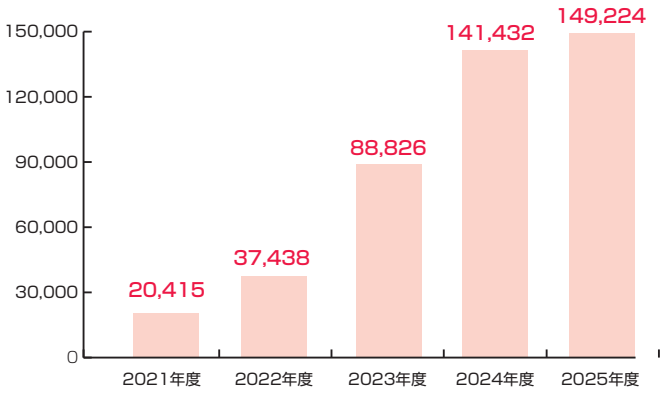
経常収益は前年度比7,791千円増(5.5%増)となりました。

経常収益が伸長した要因は、就労支援事業において「でじたる女子」での研修プログラム受注が堅調だったことやBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業拡大による同事業収益の増加によるものです。

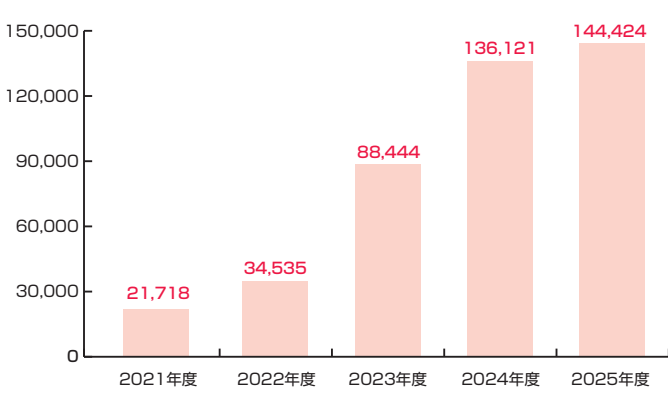
一方、受取会費は6.5%と前年度比で減少しています。

今後、団体の活動意義をご理解いただくための情報発信を強化してまいります。

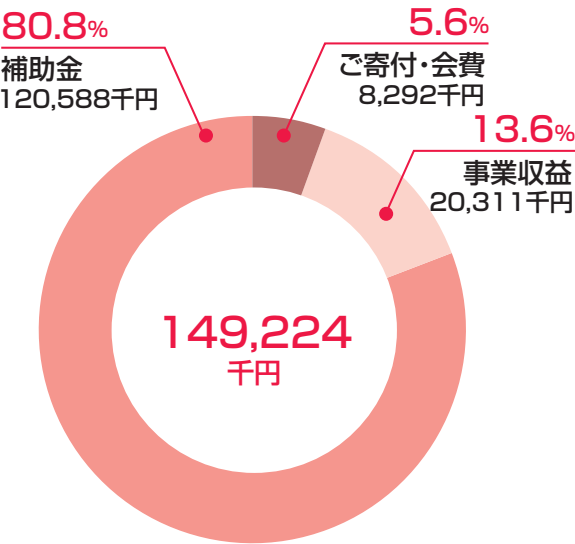
経常収益推移(単位:千円)



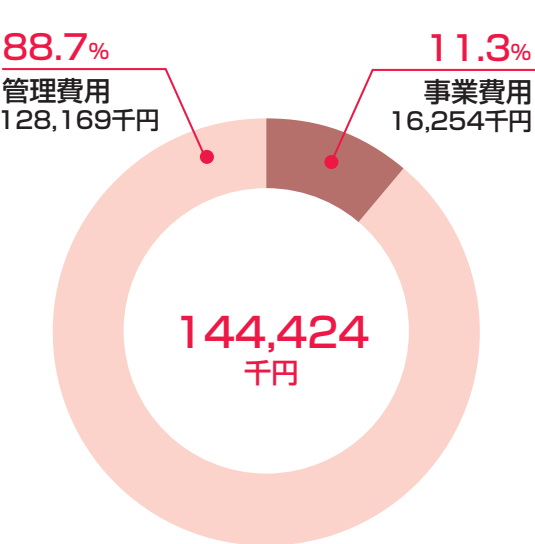
経常費用推移(単位:千円)



当年度経常収益の内訳



当年度経常費用の内訳



貸借貸借表

科目 (単位:円、税込)

I. 資産の部		
	1. 流動資産	31,423,453
	2. 固定資産	89,914,129
資産合計		121,337,582
II. 負債の部		
	1. 流動負債	4,898,166
	負債合計	4,898,166
III. 正味財産の部		
正味財産合計		116,439,416
負債及び正味財産合計		121,337,582

正味財産変動計算書

2024年10月1日から2025年9月30日まで (単位:円、税込)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	149,223,568	141,431,646	7,791,922
受取会費	1,372,000	6,772,000	-5,400,000
事業収益	20,311,000	15,385,817	4,925,183
受取寄付金	6,919,977	4,514,961	2,405,016
受取補助金等	120,588,308	114,757,412	5,830,896
雑収益	32,283	1,456	30,827
(2) 経常費用	144,423,823	136,121,376	8,302,447
事業費用	16,254,449	9,133,249	7,121,200
管理費用	128,169,374	126,988,127	1,181,247
当期経常増減額	4,799,745	5,310,270	-510,525
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	311,507	172,773	138,734
雑収入	311,507	172,773	138,734
貸倒引当金戻入額	0	0	0
(2) 経常外費用	448,435	142,212	306,223
法人税、住民税及び事業税	146,928	142,212	4,716
雑損失	301,507	0	301,507
当期経常外増減額	-136,928	30,561	-167,489
当期一般正味財産増減額	4,662,817	5,340,831	-678,014
一般正味財産期首残高	7,042,716	1,701,885	5,340,831
一般正味財産期末残高	11,705,533	7,042,716	4,662,817
II. 指定正味財産増減の部			
受取助成金	131,985,186	146,203,000	-14,217,814
一般正味財産への振替額(助成金等)	-123,058,844	-114,757,412	-8,301,432
当期指定正味財産増減額	8,926,342	31,445,588	-22,519,246
指定正味財産期首残高	79,787,541	48,341,953	31,445,588
指定正味財産期末残高	88,713,883	79,787,541	8,926,342
III. 基金増減の部			
基金期首残高	16,020,000	16,020,000	0
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	0
IV. 正味財産期末残高	116,439,416	102,850,257	13,589,159